

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	健康増進事業	会計名称	一般会計		担当課	健康増進課	
		予算科目	4 款 1 項 2 目	事業番号	2041	所属長名	大西昌治
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	篠原知美	
法令根拠等	健康増進法、がん対策基本法、(高齢者の医療の確保に関する法律)、平成28年度新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業実施要綱、愛媛県健康増進事業費補助金交付要綱				実施期間	【開始】	平成 17 年度
総合計画での位置付け	健康福祉都市の創造 生涯にわたる健康づくり					【終了】	平成 年度(予定) ■ 設定なし
総合計画における本事業の役割	総合計画における健康福祉都市の創造に向けて、全ての市民が生涯にわたる健康づくりに取り組むことで健康寿命の延伸を図ることができるよう、事業を実施することとする。						
事業の対象	市民			事業の目的	急速な高齢化の進展及び生活習慣病増加に伴うさまざまな健康課題について、市民一人ひとりが、生涯を通してこころ豊かで健やかな生活を送るため、個人、家庭、地域、学校、職場などがともに力を合わせ健康づくりの推進に取り組むとともに、健康づくりが日常生活に定着し、継続されることを目指す。		
事業の内容 (整備内容)	第2次伊予市健康づくり計画に基づき、健康相談、訪問指導、健康教育、健康手帳交付、各種がん検診等を実施していく。			昨年度の課題に対する具体的な改善策			

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	28 年度実績	29 年度予定	9月末の実績	29 年度実績
直接事業費	37,937	36,859	0	0	0	31,372	健康相談利用者数	人	952	800	47	680
財源内訳												
国庫支出金	376	99	0	0	0	109	健康教育参加者数	人	2056	200	417	1193
県支出金	1,165	1,296	0	0	0	1,146						
地方債		0	0	0	0	0						
その他		0	0	0	0	0						
一般財源	36,396	35,464	0	0	0	30,117	訪問指導実施者数	人	119	120	6	18
職員の人工(にんく)数	3.10	3.45				3.45						
1人工当たりの人件費単価	8,086	8,017				8,017	がん検診受診者総数	人	6192	6500	3627	6915
※ 直接事業費+人件費	63,004	64,518				59,031						
主な実施主体				実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)								
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					30 年度	31 年度	32 年度	33 年度	34 年度	5年間の合計		
					50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	250,000		
成果指標	指標	健康増進事業活動指標の総数(健康相談+健康教育+訪問指導+がん検診)を成果指標とする。			単位	区分年度	28 年度	29 年度	30 年度	目標 毎 年度		
	指標設定の考え方	健康増進事業参加者数は、市民の健康づくり活動に関する意識の向上を数的に示すうえで基本の評価指標となる。			人	目標	11850	12000	10000	10000		
	指標で表せない効果	地域の自主組織活動(健康づくりの会や食生活改善推進協議会)の活動を支援し、健康づくりの意識の向上に努めているが、数としては表せないものである。				実績	9319	8806				

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		今年度は、健診後の健康相談日を集約することで、業務の効率化を図ることとした。集団での対応よりも、個別の対応を重視することとし、訪問対象者も重症化予防に重点を置き実施。全体の実績は減っているものの、個別の対応については丁寧に行えている。											
事業	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4	合計点が	A	事業成果・工夫した点	各地域での健康教室については、地域の自主組織（健康づくりの会）と実施方法や内容について相談しながら、効果的な実施運営に心がけた。また、健診時の待ち時間を利用し、健康情報を伝えることができた。			
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	3	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D							
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4								
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	3	合計点が	A						
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4			14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D					
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	3								
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	3	合計点が	A	事業の苦勞した点・課題	健康相談日を集約したことで、健診後のタイムリーな相談ができにくくなっている。今後は随時相談が受けられるような体制づくりや個々の訪問指導の充実を図っていく。					
		コスト効率	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	3					14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D				
		市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4									
	の	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	5			合計点が	S	事業の方向性	■ 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 「伊予市健康づくり計画・食育推進計画」の目標である健康寿命の延伸、また健康格差の縮小を進めるため、事業継続と判断する。	
				社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	5							14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D
				市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	5							
有効性			事業の効果	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4	合計点が	A						
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	3			14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D					
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4								
効率性		手段の最適性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	3	合計点が	A	所属長の課題認識	各種がん検診の受診率が低いことから、この向上に向けた取組が必要である。職員で現行取組の検証と見直し、また、新規の取組の検討を行い、実行に移すことで受診率の向上に努めていく。					
		コスト効率	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4					14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D				
		市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4									
評価		一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	5			合計点が	S	事業の方向性	■ 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 「伊予市健康づくり計画・食育推進計画」の目標である健康寿命の延伸、また健康格差の縮小を進めるため、事業継続と判断する。	
				社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	5							14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D
				市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	5							
	有効性		事業の効果	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4	合計点が	A						
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	3			14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D					
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4								
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	3	合計点が	A	所属長の課題認識	各種がん検診の受診率が低いことから、この向上に向けた取組が必要である。職員で現行取組の検証と見直し、また、新規の取組の検討を行い、実行に移すことで受診率の向上に努めていく。						
	コスト効率	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4					14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D					
	市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4										

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。 健康づくり計画に基づき、健康増進事業を実施する必要があり、事業継続とする。重要な事業と判断し、行政評価委員会に諮る。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	<p>答申の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の自主組織活動というのがどの地域にあるのかも分からない。もう少し周知徹底されるとよいと思う。</li> <li>・健康づくりは自己責任であるが、病気を未然に防ぐのが一番である。いろいろ施策をされている。継続してほしい。</li> <li>・この活動が市民の健康維持に結び付いているか効果も測定しないといけないと思う。状況を把握していただきたい。</li> <li>・健康意識の高い人と低い人に格差が表れている。意識が低い人にどうやって働きかけていくかがポイントになる。</li> <li>・未受診者と受診者の年間医療費の差が13万円もある。その内容をさりげなく配布物に載せてもらえると効果的である。</li> <li>・女性限定の健診に託児サービスをされている。受診率のアップにつながる取組はありがたい。今後も続けてほしい。</li> </ul>
------------	------	--

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断	事業の方向性		コメント欄 特定健診の無料化に取り組むとともに、がん検診受診率の向上を図っていく。
	<input checked="" type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	右記の点を見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を行う。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を行う。	